

令和6年度
事業報告

学校法人白藤学園

令和6年度 事業報告

1. 学校・園の概要

(令和7年3月31日現在)

設置する学校	奈良保育学院	奈良女子高等学校		奈良保育学院 附属幼稚園	白藤学園おお みやこども園	白藤学園おお みや保育園
設置課程 学科	教育保育専門 保育科	全日制 普通科	通信制 普通科			
修業年数	2年	3年	3年以上 (単位制)	満3歳から4年 3歳から3年 4歳から2年 5歳から1年	3歳から3年 4歳から2年 5歳から1年	
学則定員	100名	740名	160名	90名	90名	200名
児童・生徒数	1年 43名 2年 44名 総数 87名	1年 105名 2年 101名 3年 102名 総数 308名	1年 42名 2年 34名 3年 38名 総数 114名	満3歳児 13名 3歳児 13名 4歳児 22名 5歳児 25名 総数 73名	3歳児 27名 (内2号10名) 4歳児 26名 (内2号8名) 5歳児 20名 (内2号10名) 総数 73名 (内2号28名)	0歳児 20名 1歳児 24名 2歳児 33名 3歳児 37名 4歳児 34名 5歳児 38名 総数 186名
教職員数 (理事長除く 常勤)	教員 8名 職員 1名	教員 29名 (パート含む) 職員 3名	教員 4名 職員 1名	教員 8名 職員 2名	保育教諭 7名 職員 2名	保育教諭 23名 職員 0名
役員・評議員	理事6名、監事2名、評議員14名					

※通信制課程は9月19日より定員を160名に拡大

※幼稚園は9月1日より満3歳児保育を開始

2. 事業の概要

【学園】

- 令和6年4月からは「おおみやこども園」の自園調理を開始するなど「保育学院附属幼稚園」「おおみおや保育園」「おおみやこども園」の幼児教育・保育3園の充実を図り、連携の強化をより推進した。

【保育学院】

- 卒業生の幼稚園教諭免許・保育士資格の取得率は、98%となっており、就職希望者ほぼ全員が就職を達成した。
- 幼児教育・保育3園の「幼稚園」「こども園」「保育園」において子どもたちと関わりながら実習を行い、実践的な保育技術等を身に付けることができた。
- 独自科目である保育ゼミを実施するにあたり、学園内3園と密接な連携を図る総合コーディネーターを位置づけるとともに定期的な連携調整の場を設け、ゼミの内容や各園の保育計画の調整、行事サポートなどについての情報共有などを行うことで、各回生での学修内容の充実につながった。

- ・教員の学会や研修会への参加、研究論文作成などを積極的に支援するとともに、自己評価シートを作成し所属長と面談するなど、教員の資質・能力の向上に努めた。
- ・奈良県委託訓練事業（長期高度人材育成コース）の委託法人に選定され、新たに5名を受け入れた。（うち1名が家庭の事情により退学）

【高等学校】

- ・総合進学コース標準選択では、新教育課程における学校設定教科「自分未来創造」の3つの科目「NJ SDGs」「NJ ART」「NJ アカデミー」の体験的・探究的な実践が進み、生徒の満足度も高く、学習成果を進路決定につながられた。
- ・iPadを活用した「ICT教育」においては、1年生においても学習道具として使いこなし、ほとんどの生徒が満足していた。公開研究授業では、iPadやWi-Fiを活用した「協働的な学び」の場面について外部の参加者から良い評価を得た。また、探究学習の成果をショート動画で表現し、発信する実践も進められた。
- ・「探究的な学習」においては、マイプロジェクトの地域サミット、コロキウム講座への参加により質の高い集団と関ることにより高められた探究的な学習を経験した。
- ・通信制課程は、進学したい生徒の需要が高まり定員を超える希望者になってきたことから9月19日より定員100名を160名に拡大した。
- ・進路について、全日制課程では、早い段階で進学を意識する生徒が増え、「総合型選抜」「学校推薦型選抜」を活用して志望大学に合格する生徒が増えるなど、進学成果も出てきた。通信制課程では、国外の難関大学への進学など4年制大学への進学の比率が高くなっている。
- ・コース活動において、パテシエール選択では、2年生が「全国和菓子甲子園」で準優勝、また、3年生が「スイーツ甲子園」の西日本大会に出場することができた。
- ・部活動においても、卓球部が全国大会に出場、奈良県新人大会で卓球部、バスケットボール部、バレーボール部が優勝するなど活発な活動を行った。

（就学前教育保育）

共通理念「たっぷり遊び じっくり学び とともにたかめあう」

【幼稚園】

- ・畑や田んぼで苗植えから収穫まで行うなどの「自然教育」「食育」、民間施設を活用してのスイミング教室、自然の中での森の教室（黒髪山キャンプフィールド使用）など実践し、園児の豊かな感性と伸び伸びと表現する力を引き出す教育内容の充実に努めた。
- ・園児募集に繋げるため「子育てふれあいサロン『白藤アカデミー』」を月1回実施、令和6年1月に開設した1歳児未就園児クラスを継続的に運営、令和6年3月に開設した親子で遊び、子育てへの不安など相談ができる子育て広場「しらふじ ここすきひろば」を継続的に運営し、幼稚園とも連携しながら入園へつなげた。
- ・社会情勢の変化に対応し就学前の教育保育の充実を図るために、令和6年9月1日より「満3歳児保育課程」を創設した。

【こども園】

- ・令和5年10月から2ヵ年計画で実施してきた園舎改修工事を継続的に実施し、12月には園舎本体の改修工事が完成、付帯工事である駐車場整備などは令和7年2月に完成し、園舎改修は無事にすべて終了した。

- ・園舎改修工事中は、子ども達や保護者の安全を確保しながら保育を進めるとともに、学園の施設を利用しながら充実した園行事や保育を行うことができた。
- ・0・1・2歳児対象の未就園児保育を担当保育教諭が実施したり、週1回園庭開放を新たに設けたりなど地域の子育て支援の充実を図ったことで入園児が開園時より22名増えた。
- ・園内研究会の実施や先進園への研究視察などを積極的に実施し、教員の資質・能力の向上に努めた。

【保育園】

- ・「からだ育て」「アート」「食育」の3つのテーマに沿って保育を進め、課外教室から得られた実践を取り入れ体幹を育てることに繋がったり、子どもが自分の作品を作るときの制作過程をアート展で展示する工夫を行ったり、魚の解体ショーを体験し、命あるものへの感謝の気持ちを込めるなどができた。
- ・公開保育では、幼児教育専門の大学院教授を招き、クラスごとへの指導などを受けながら保育の振り返りなど保育内容の見直しを行うことができ、保育力の向上に努められた。
- ・子どもの主体性を大切にする保育を基本に運動会、遠足、花いっぱい運動などの行事の実施に保育学院の学生の参加も得ながら子どもたちへのきめ細やかな配慮や支援を受けながら実施できた。